

① 令和2年度 事業・予算計画案の件

引き続き、令和2年度の事業・予算計画案のご説明に移ります。

<事業計画案>

今年度の事業は、「くるみのおうち」を中心に、右に記載の5つの事業を中心に行っていきたいと考えています。内容はこれまでの延長線上にあるものがほとんどですが、一つ新しい事業として、「⑤担い手育成事業」をスタートさせたいと考えています。インクルーシブな地域社会を創るために、担い手を一人でも多くしたい。そのためビジョンに共感しあえる活動の担い手を増やしていきたい、と考えました。当初は試行錯誤の連続になると思いますが、がんばって取り組んでいきたいと思っております。

これらの事業を地域で展開していくためには原資が必要となるため、認定特定非営利活動法人まちぼつとの「市民社会強化活動支援事業（休眠預金を活用した助成金事業）」に申請し、無事採択されました。200万円の助成金を3年間いただけるため、くるみのおうちの運営費（人件費、賃借料）、空調設備費、IT環境整備費等に充て、社会的インパクトの高い事業を展開していくことを目指します。なお、本助成金は金額規模が大きく、休眠預金を活用していることなどから、新たな規定の整備や月1回のZoom打ち合わせで事業・会計報告が求められるなど、事務負担が大きくなる見通しです。

また、向こう3年間の財源は確保できたものの、4年目以降は自立的な運営体制が求められます。その時に備え、認定取得による寄附財源の強化、事業収益性の向上、行政とのタイアップや制度化の提案など意欲的に取り組んでいきたいと思っております。

例年は、事業活動のおおよその時期と頻度もお示しするのですが、今年度はコロナ影響により先を見通すのが難しく、人が集まれるイベント等を再開できるのは9月以降という前提で考えています。当面はZoomなどオンラインで行うことができる「お茶会」のように、気軽にご参加いただける場を作っていきたいと考えています。別途ご案内させていただきますので、よろしければぜひご参加ください。

②令和2年度 事業計画案

～「くるみのおうち」を中心に、5つの事業を展開～

- ① **社会体験型イベント事業**
・アウトドア、お弁当づくり、パンづくり教室、プログラミング体験講座（月1回ほど）に。
- ② **家庭環境が厳しい青年のためのシェルター事業**
・すでに受け入れ実績4名。ニーズが非常に高い。
- ③ **老若男女や障害等の垣根のない地域密着型イベント**
・近隣の高齢者施設、医療生協、市民活動団体・個人との協働
- ④ **地域のニーズを踏まえた事業**
・知的/発達障害の啓発講座やセミナー、障害のある子のママさんグループ向け場所貸し
・地域の個人事業家によるワークショップ（縫い物教室等）
- ⑤ **インクルーシブな地域づくり・担い手育成事業**
・担い手育成事業（団体立ち上げ・運営等）